

サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量削減に関するガイドライン

ソフトバンク株式会社(以下、「当社」という。)は、お取引先の皆さまにエネルギー効率の高い製品またはサービスを開発し、ライフサイクルとバリューチェーン全体で温室効果ガス(以下、「GHG」という。)排出量を削減することを求めています。自社の事業活動の GHG 排出とエネルギー消費を特定・測定および最小化すること、自社の年間エネルギー消費量と GHG 排出量の自己申告を行い、その情報を公開することが望まれます。このようにして、当社はお取引先の皆さまなどサプライチェーン全体で排出される GHG(スコープ 3) の計算に使用できる標準化された報告を促進することができます。GHG 排出量を積極的に管理するために、お取引先の皆さまには次のことを要望します:

- ・パリ協定※に沿った GHG 排出削減目標を設定する
- ・GHG 排出量の排出指標を測定し、当社に提出を依頼された際は提供する
- ・GHG 排出量を削減するために再生可能エネルギーを使用する等の措置を講じる
- ・排出削減目標に対する進捗状況を年次で公表する
- ・お取引先の皆さまは自社だけでなく、自社のお取引先の皆さまの事業における GHG 排出削減を推進するために、自社のお取引先の皆さまとともに排出削減に取り組む

※/パリ協定:「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」という目的で、全世界で共通する国際的な取り組みのことをいいます。